

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	知的障害児教育						授業形態		講義	
科目コード	750141	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	石本 隆士								ICT活用	○
授業概要	特別支援学校・学級（知的障害）において編成される教育課程の意義や編成の方法、カリキュラム・マネジメントについて理解します。また、知的障害の状態や特性及び心身の発達段階等を踏まえた教科別の指導、領域別の指導、領域・教科を合わせた指導における配慮事項について理解します。その上で、学習指導案の作成や授業における知的障害児への適切な指導・支援の在り方について、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターの実務経験をもとに、学校の現状をふまえながら実践的な理解が図れるようにします。									
関連する科目	障害児教育入門、特別支援教育課程論									
授業の進め方 と方法	講義はパワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開し、ICTを活用した即時的な知識・意見の共有と段階的な振り返りを行います。また、複数の指導案に触れ、それらをもとに演習形式で指導案の作成を行います。さらに、模擬授業やグループによるディスカッションを通して深化を図ります。									
授業計画 【第1回】	知的障害に関する基礎知識 科目の概要と目標、学習方法と評価、知的障害の定義と特性、学習上の特性と教育的な対応について学びます。									
授業計画 【第2回】	知的障害のある子どもへの教育 特別支援学校・特別支援学級（知的障害）の教育課程について学びます。									
授業計画 【第3回】	個別の教育教育支援計画と個別の指導計画 個別の教育支援計画と個別の指導計画における情報整理と具体的な記述方法として、子どもの実態、本人と保護者の意向、目標、手立て、合理的配慮、評価について学びます。									
授業計画 【第4回】	教科別の指導としての「国語科・算数科」 国語科・算数科等の目標と内容、年間指導計画、単元配列、学習活動、授業実践について学びます。									
授業計画 【第5回】	領域別の指導としての「自立活動の指導」 自立活動の目標、内容、年間計画、題材配列、学習活動、授業実践について学びます。									
授業計画 【第6回】	各教科等を合わせた指導としての「日常生活の指導」 日常生活の指導の目標、内容、年間計画、学習活動、授業実践について学びます。									
授業計画 【第7回】	各教科等を合わせた指導としての「生活単元学習」 生活単元学習の目標、内容、年間計画、学習活動、授業実践について学びます。									
授業計画 【第8回】	学習指導案の概要 学習指導案作成の留意点、各教科等・自立活動・日常生活の指導・生活単元学習に関する学習指導案について学びます。									
授業計画 【第9回】	各教科等の学習指導案作成 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした国語科または算数科の学習指導案を作成します。									
授業計画 【第10回】	各教科等の授業研究 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした国語科と算数科の授業について、学習指導案検討段階での分析を行います。									

授業計画 【第11回】	領域別の指導の学習指導案作成 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした自立活動の指導案を作成します。
授業計画 【第12回】	領域別の指導の授業研究 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした自立活動の授業について、指導案検討段階での分析を行います。
授業計画 【第13回】	各教科等を合わせた指導の学習指導案作成 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした生活単元学習指導案を作成します。
授業計画 【第14回】	各教科等を合わせた指導の授業研究 特別支援学校小学部及び小学校知的障がい特別支援学級在籍児童を対象とした生活単元学習の授業について、学習指導案検討段階での分析を行います。
授業計画 【第15回】	知的障害児教育におけるICT及び教材・教具の活用 知的障害の状態や特性及び心身の発達段階を踏まえ、各教科等の指導の効果を高めるために必要なICT及び興味や関心に着目した教材・教具の活用について学びます。
授業の到達目標	1. 知的障害教育において編成される教育課程について、その意義や編成の方法とカリキュラムマネジメントの考え方について理解している。 2. 各教科等の年間計画を踏まえ、個々の幼児、児童又は生徒の実態に応じて適切な指導を行うために個別的教育支援計画と個別の指導計画を作成することを理解している。 3. 知的障害の状態や特性及び心身の発達の段階を踏まえ、育成を目指す資質・能力の明確化による指導目標の設定、生活に結び付いた学習活動と指導内容の選択を行い、指導することを理解している。 4. 障害の状態等を踏まえ、意欲的に活動し充実感や達成感を得られる手立ての必要性、ICT等を活用した教材・教具の意義と活用方法
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	授業の中で自身の考えを整理し、意見交換を行うため、各自で授業内容について確認や予習をしておいてください。(1時間程度) 指導案を作成するために必要な情報を収集・整理しておいてください。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	配布したプリント等を基に内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等で更に深めたりしておいてください。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」、科目の後半に作成してもらう指導案等については、次時の授業時間に解説を行います。
評価方法・基準	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容や提出する指導案(30%)、及び最終試験(70%)で総合的に評価します。
テキスト	テキストは使用せず、資料を配布します。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)、文部科学省(2017) 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)、文部科学省(2017) 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)、文部科学省(2017) 障害のある子供の教育支援の手引、文部科学省(2022)
備考	公立小学校で、通常の学級(交流学級)担任、通級指導教室担当、特別支援学級担任として勤務した。